

「いて手！！！！」（船越）

昨年の11月頃から、左手の親指の辺りが痛み出し、手の甲が痛くなったと思ったら、今度は手のひら、次には腕のスジが痛いというような状態になり、ある整形外科で診てもらったら、使い痛み（加齢？）により、関節軟骨が擦り減ってずれて痛くなる「母指CM関節症」だろうとの診断を受けました。手術で治すという手もあるらしいですが、100%の効果は期待できないということで、とりあえず固定具を装着して様子を見ている段階です。左手が使いにくいとこんなに不便なのかと、右利きでも左手を酷使していることに気付かされました。ピリッと痛みが走るたびに痛感する、健常だった頃普通に左手を使っていたことのありがたさ。う～ん、やはり健康一番！



今さら聞けない 経済用語

【今月の教えてキーワード：貨客混載】

バスや鉄道を使って貨物と旅客を一緒に運ぶこと。運送業界におけるドライバーの人手不足と、中山間地域で進む高齢化や過疎化により公共交通機関の重要度が高まるものの、その維持が困難になっているという状況を克服するための策。例えばヤマト運輸では、岩手県北自動車ではバス、京福電気鉄道とは電車での連携を行うなど各地で取り組みが始まっている。今後は都市部でも水上バスやタクシーとの連携を試みる動きがある。

偉大なる日本の100人に学ぶ 人の心を魅了する生き方。

【坂東の統一を目指して：平将門（たいらのまさかど）】

将門の乱で知られる平将門。その出自は明らかになっていませんが、903年頃に生まれたといわれています。平安京に都を移し、貴族政治の礎を



作った桓武天皇の末裔（まつえい）で、父は上総国（かずさのくに）の国司として赴し、任期後もその地にとどまり財力や武力を蓄えていきました。

父・良将（よしまさ）も鎮守府将軍として東北の異民族をよく納めていたものの、将門が幼いうちに逝去します。跡目を継ぐことになった将門は、一族の隆盛を目指して京に活躍の場を求めたのです。しかし、親の後ろ盾もなく田舎の出であった者に出世の芽はなく、京の上流貴族社会は居心地の悪いものでした。そしてこの頃、伯父・国香（くにか）らによる相続争いが巻き起こり、将門は志半ばにして郷里に帰るのです。自らの強い武力により相続争いを収めた将門は、その勢いのままに国を治める国府をも攻撃します。こうして坂東（関東）8カ国の国府を次々に攻めて国司を追放すると、自らを新しい天皇「新皇」と称するようになったのです。しかし、朝廷がこれを黙って見ているはずもなく、藤原忠文を征夷大將軍として将門を討つように命じます。その鎮圧軍が到着する前に将門は流れ矢に当たり落馬し、首を斬られます。貴族による政治がほころび始め、武士が力を持ち始めるきっかけを作った30数年間の人生でした。

今を生きる

先人の言葉

俺はまだ
発展途上人
なんですよ

日本の俳優である松田優作の言葉。誰からも一目置かれる存在となり、その業界で名をはせても「まだまだ途中だ」と思える者が明るい未来を切り拓くのだろう。

トレンドを斬る!

移動販売車で定期的に商品を届ける「走るコンビニ」が伸びています。中でもセブン-イレブンは2019年までに未進出の

沖縄県を除く46都道府県への展開を目指し、過疎地はもちろん高齢者施設や都市近郊の団地など、総務省が後押しする買い物弱者対策事業として積極的に取り組んでいます。食料品や日用品のみならずコミュニティの場を提供して地域を見守る役割を担うなど、コンビニならではの卓越した顧客サービスに基づくビジネスモデルの構築に期待です。



365日が楽しくてたまらない! 「商売のヒント」

今月の商売のヒント: 【勝負は2秒】

人生においてたった一度しかないチャンス。いったい何だと思いませんか?

それは「第一印象」です。その人との初対面はたった一度だけ。「第一印象」に二度目はありません。

最初の2秒



それなのに、たった一度の第一印象を意識している人は意外と少ないようです。商売でたくさんの人に出会うあなたははどうでしょう。

第一印象とは人や物に接したとき、最初に受ける感じのこと。いわゆる「パッと見」です。その時間は15秒だとか10秒以内だとかいろいろいわれていますが、たった2秒という意見もあります。以前ベストセラーになった『第1感』の著者マルコム・グラッドウェル氏によれば「何かへの評価は2秒で決まる」のだとか。

最初の2秒で感じる「なんとなく」を「第1感」と名付け、「(第1感で)状況や人物を瞬時に判断した」場合も、「半年以上の時間をかけて判断した」場合も、そのものへの評価はほとんど変わらないと分析しています。私たちは平均で3秒に1回まばたきをしているそうですが、2秒というのはまばたき1回分にも満たない一瞬。初対面で「はじめまして」とあいさつを交わすまでもなく、私たちは瞬時になんとなく相手进行评估して、同時に自分も評価されているのです。しかもその評価はけっこう的確なので、第一印象が悪かったから時間をかけて自分を分かってもらおうと努力しても、修復できる確率は低いというわけです。人には実にさまざまな面があり、それらをひっくるめたものがその人なりの味わいとなります。しかし自分の人となりを見てもらう前に、出会いがしらの2秒で与える印象は思っている以上にインパクトが強いことを覚えておきたいものです。

服装や立ち居振る舞い、話し方や声のトーンなど第一印象を良くするための演出はいくらでもありますが、結局は「普段の自分」がにじみ出てしまうものですし「普段」は隠せません。だったら普段からカッコ良く。カッコつけるのではなく、自意識よりも美意識を大事にしていきたいものですね。

その半年後



トナリの

本棚



【がん消滅の畏 完全寛解の謎】

末期がん患者が保険会社から多額の生前給付金を受け取る。するとすぐに、がんが消失するという奇跡が続けて発生する。何重にも張り巡らされた謎、最後に待ち受ける衝撃。読後すぐに読み返したくなる一冊です。

船越税理士事務所

〒620-0054

京都府福知山市末広町1-1-1 中川ビル3階

TEL:0773-22-3708 FAX:0773-22-7343

<http://www.f-office301.com>

E-mail: info@f-office301.com

皆様のご感想をお待ちしております (๑)(๑)(๑)(๑)(๑)(๑)